

総評

国語と数学が難しく、英語は易しめで、教科による難易度のばらつきの大きい試験となりました。

今回の試験範囲である、中1の冬期までの内容は、入試に向けてのいわゆる「基礎」の部分ですから、どの教科も確実に身につけておきたい内容ばかりです。間違えた問題は徹底的に復習し、基礎を完璧にしましょう。

1月からの学習はまた一段難しくなります。結果が良くても油断せず、より実践的な問題に取り組みましょう。

道コンのような試験は、受験して結果を見ただけでは価値はありません。自分の間違いの傾向や弱点を把握し、苦手な問題を克服してこそ、受験した価値があるのです。せっかくの受験を無駄にしないためにも、間違えた問題の直しを必ず行って、実力アップに役立ててください。

国語

非常に難しい出題となりました。

㊦は、(5)の得点率が低かったです。入試では小学校で習った漢字も出題されます。今のうちにしっかり定着させておきましょう。㊦は、問四の得点率が低くなりました。指定形式に注意し、アンケートの回答をもとに過不足なく解答することができたかがポイントでした。㊦は、問五を間違えた人が多かったようです。表現の特徴を本文から読み取るだけでなく、選択肢の内容を正しく理解することも大切です。㊦の問一は、得点率が全体で一番低くなりました。「複合語」を復習する必要があるようです。また、問五は、読み取る部分が文章全体に散らばっていて、とても難しかったようです。㊦は、全体的に得点率が低くなりました。歴史的かなづかいや主語など、古文の基本的な学習内容を定着させましょう。

数学

難しめの出題でしたが、どの内容も2年生以降の学習の理解には必須です。不明点はそのままにせず、必ず解き直して知識や解法を定着させてください。

①はいずれも基本内容です。問5は、問題文の表現と答えの不等式との対応を確認してみてください。②は考えられる得点を図や表に整理してみましょう。③問2は、今後の学習でも必要な考え方です。問題集などを利用して、同様のパターンに慣れておきましょう。

④問2では、 x や a を使った数量の表し方に誤りのある答案が見られました。与えられた文字で不明な数量を表現する方法を整理しておきましょう。⑤は、比例・反比例のグラフと図形の融合問題でした。与えられた条件から座標やグラフの式を導き、各辺の長さや面積を求める流れを改めて確認しましょう。

社会

標準的な出題でした。

地理分野では、②問4②、③問6、⑥問6の記述など、資料を利用した問題で得点率が低くなりました。地理は場所を覚えることも大切ですが、入試では資料を利用した問題が多く出題されるので、苦手としている人は問題集などを利用して問題に慣れておきましょう。また、間違えた問題は解答解説をよく読んで解き直しをしましょう。

歴史分野では、⑨問6、⑩問6の年代並べかえ問題で得点率が非常に低くなりました。年代に関する問題は入試では必ず出題されるので、苦手としている人は、今のうちから、教科書の年表を利用するなどして、歴史のおおまかな流れをつかむようにしましょう。

理科

標準的な難易度の出題でした。

①は、問4が細かい知識が問われ難しかったようですが、他はよくできていたようです。②も、問4以外はよくできていました。③は、問1(2)の計算問題の他に、問3が難しかったようです。問3の考え方は重要ですので間違えた人はしっかりと復習しましょう。④は、問2以降を正解できなかった人が多かったようです。応用力が問われる問題もありましたが、水溶液に関して基本的な内容・重要な考え方が必要となるものが多く出題されましたのでよく確認してください。

応用的な問題でもしっかりと対策をすれば得点することができます。高い得点を目指す上では避けられませんので、学習する内容が多くなる前の今のうちに練習を繰り返して身につけましょう。

英語

全体としては易しめの出題でしたが、得点率が30%前後になった問題もいくつか見られました。間違えた問題をそのままにせず、2年生になる前にしっかり復習しておきましょう。

①のリスニング問題は全体的によくできていました。引き続き得点できるようにしましょう。

②では問3③の得点率が27.1%、問3④の得点率が31.1%と低くなりました。所有格などは英語の基本内容です。1年生のうちに練習をくり返して、2年生になる前にしっかりと書けるようにしましょう。

③問3(1)も得点率が低くなりました。それほど難しい問いではありませんでしたが、watchesなどと誤って答える答案が目立ちました。三単現のsがつく動詞の形は、よく確認しておきましょう。